

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東海)		一般小売店〔土産〕（経営者）	・ゴールデンウィークの10連休もあり、休日の活用が良い方へと向かう。
		商店街（代表者）	・東京オリンピックが行われるので、ますます良くなると思う。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・新しい元号となり、少しは良くなることを期待する。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・改元後の参拝者の増加に期待している。
		百貨店（総務担当）	・10連休による消費への反動が気に掛かるころではあるが、消費税の引上げを前にした駆け込みで高額品への需要が高くなっていることや海外インバウンドも好調であり、引き続き売上げをけん引するものと想定している。
		百貨店（販売促進担当）	・消費税の引上げ前のプロモーションを展開するので、駆け込み需要で売上げが増大すると見込む。
		百貨店（販売担当）	・夏物が天候の影響で動き出していないこともあり、10連休に向けた期待は大きい。
		百貨店（業績管理担当）	・消費税引上げ前の駆け込み需要による高額品の販売が見込まれる。
		百貨店（計画担当）	・今後、改元の祝賀ムードや消費税引上げ前の駆け込み需要が増えることが予想される。
		スーパー（店長）	・改元により、お祝い事が少しばかり増えている。また、消費税の引上げを前に金の回り方は良くなる。
		スーパー（総務担当）	・客の様子やアンケートでは、ゴールデンウィーク中も意外と遠方への旅行は少なく、内食傾向が強いので、売上げが期待できる。
		スーパー（支店長）	・春も過ぎ、人の動きが激しくなるこの時期に、行楽などで消費が増えることを期待したい。消費税の動向は気になる。
		コンビニ（エリア担当）	・今年も暑くなる予報が出ているが、加えてゴールデンウィーク後の出控えも一段落して、再び需要が高くなりそうである。また、インバウンド需要で公共交通機関の利用者も多くなりそうで、上向き基調と考える。
		コンビニ（エリア担当）	・夏季売場への早期対応で、ファーストフードの新品とキャンペーンに合わせて、冷やし麺のリニューアルを実施する。さらに、キャンペーンも実施予定である。
		家電量販店（店員）	・消費税の引上げ前に買っておこうということで、夏場の混雑時を避けてのエアコン、冷蔵庫の問合せや購入が出てきている。
		家電量販店（店員）	・令和時代の期待を込めて良くなることを願いたい。心配なのは今後の世界情勢がどのように変化するかで、先行きは率直に読んで読めない状況をはらんでいる。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・来客数は厳しいが、消費税引上げ前のエアコン、パソコンの買換え需要が堅調に見込まれる。天候にもよるが、前年の猛暑の話はよく聞くので、エアコンの買換えや買い増しは今年も続く。
		乗用車販売店（経営者）	・7月にメイン車種のフルモデルチェンジが予定されているので期待したい。
		乗用車販売店（従業員）	・消費税引上げ前の駆け込み受注や新型車種の発表もあり、当分は前年以上の販売台数が見込める。
	乗用車販売店（従業員）	・改元や東京オリンピックに向けて、変化や明るい話題が多いので、とりあえず少し景気が上向くのではないかと思う。	
	乗用車販売店（従業員）	・消費税引上げ前の駆け込み需要が本格化してくると思われ、車検証が令和元年となる記念の年に自動車登録したいという客が増えてきているので、意外ではあるが、改元効果が出てきていることを実感できる雰囲気である。ガソリンの価格が若干上がってきているのは不安材料であるが、工場への在庫数も前年並みであることを考えると、この先が楽しみに感じられる。	
	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・ここ数か月は、希望をもって新たな時代の流れを感じ、上向きな雰囲気が続く。	
	観光型ホテル（支配人）	・2～3か月後は、月ずれによる大型物件の受注という要素もあるが、他にも受注物件があり、特に宿泊宴会が前年同期比で100%を超える見込みが固く、やや良くなるといえる。	

旅行代理店（経営者）	・消費税引上げの前の駆け込み需要が増える。
旅行代理店（経営者）	・平成も終わり、令和という新しい時代のスタートで、これから景気も少しは良くなると思う。
旅行代理店（経営者）	・元号も改まり、新しい時代の幕開けに向けて旅行商品も夏休みのツアーとジョイントしているの、消費者も計画しやすい。ただし、天候に左右される時期なので出発するまでは心配なところがある。
旅行代理店（経営者）	・秋のラグビーワールドカップが、どの程度、旅行の受注に影響するのかが未知数ではあるが、このままの状況を保てると感じている。
旅行代理店（営業担当）	・前年は、猛暑による旅行の中止や延期があったほどの異常気象であった。今年は天候不順との予報が出ているので、計画の立てづらいシーズンとなりそうだが、消費税引上げ前の駆け込み需要で上向きになると見込んでいる。
通信会社（企画担当）	・改元をきっかけとする新商品や新サービスの展開によるお祭りムードが、数か月は続くと思われる。
テーマパーク（職員）	・ゴールデンウィークの10連休やチューリップの開花時期で客が増える。
ゴルフ場（支配人）	・この先6～7月は梅雨に入り天候に左右されるが、6月の予約数は前年と比べ遜色がないので、今月よりはやや良くなる。
その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・若干は前年の自然災害の影響が残っているものの、線路保守や踏切整備も広範囲に実施されており、安全性や快適さにつながってきている。
美容室（経営者）	・これから暑くなってきて、パーマを掛けたりカットをする客が増えてくる。
美顔美容室（経営者）	・今月から7月末までのキャンペーンが始まっているので、新規客が増える。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・消費税引上げ前の駆け込み需要を期待したいところである。
商店街（代表者）	・依然として、販売箇所によって売上が一向に上がらない。一部の新店舗だけで売上が伸びているが、従来の店舗の売上がいまだに上がらない。
商店街（代表者）	・相変わらず客単価が伸びてきていない。自家用の商品も出ていない。
商店街（代表者）	・時代は変わっても消費活動が変わるとは思えない。消費税の引上げ前の駆け込み需要も期待はできず、さほど変わらないものと思われる。
商店街（代表者）	・会社関係の消費税引上げ前の駆け込み需要は増えていくが、個人の消費は節約志向が強くなっていくので、相殺すると余り変わらないと思う。
商店街（代表者）	・消費税の引上げを控え、夏物商材、特にエアコンの動きに注目しているが、前年のように猛暑が続けばそれなりに需要があると思うが、他の商品、特にテレビなどのAV機器の動きには期待できない。
商店街（代表者）	・個人の来客数は連休や天候によって左右されやすいので、法人の来客数が安定的に増えるまでは景気上昇は見込めないと思う。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	・地元駅前開発で駅前商店がこれから3～4年なくなり、工事の車両でにぎわうことになり客の不便さが目に浮かんでくる。近くにあるアウトレット施設は大にぎわいであり、さらに、その隣には大型ショッピングセンターの工事が進んでいる。当地域は景気の落ち込む最悪のストーリーとなる予感がする。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・3か月先は消費税がまだ8%である。10%になる前のこれから3か月間は、駆け込み需要で個人消費が伸びる。しかし、財布のひもが固いところもあるので、伸びているところもあればへこんでいるところもある。したがって、3か月先は変わらない状況で、消費税引上げ前の駆け込み需要があるため何とか伸びているところもあり、バランスとしては、プラスまでいかないけれども、現状と変わらない状況が続くような感じがする。
一般小売店〔生花〕（経営者）	・依然、購買意欲は低いままと思われる。
一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。

一般小売店〔和菓子〕 (企画担当)	・政局も海外情勢も、いずれも不透明で先が見通せない。
一般小売店〔書店〕(営業担当)	・新年度予算が動き出し取引が活発になり、一定の受注量が続くと考えられる。
百貨店(企画担当)	・インバウンドの売上は2月以降順調に伸びているが、婦人、紳士共にファッションは引き続き動きが鈍いままである。この先も好転する要素は見当たらず、厳しい状況が続くと思われる。
百貨店(経理担当)	・消費税引上げを控え、高額品を中心に消費が活発化しそうであるが、先行きは不透明である。
百貨店(販売担当)	・消費税引上げを見据えた購入は始まるが、良くも悪くもない状況であると予想される。
スーパー(経営者)	・新元号になってからの参拝客に期待している。
スーパー(ブロック長)	・10連休のゴールデンウィーク終了後は消費が少し落ちるように思う。食料品関係はまだまだ値上がりする商品があり、ガソリンの価格も上がっている。相場安だった野菜価格も上がっている。春からの天候も、平年並みではない状況が続いている。
スーパー(販売担当)	・店長が問題解決のためのミーティングを定期的で開催してくれることになった。売上の前年超えを維持できる。
スーパー(商品開発担当)	・来客数もやや回復傾向にあり、前年の99%まで上がってきた。客単価に関しても前年101.4%と上がってきてはいるが、来客数が前年を超えない限りは良くなるとはいえないと感じる。
スーパー(経営企画担当)	・特に要素がない。
スーパー(商品管理担当)	・ガソリンの価格高騰が予想されるので、消費者にも買い控えがありそうである。
スーパー(総務)	・相変わらず客の財布のひもは固い。景気が変動するような要因が見当たらない。令和に変わろうとしている今も、売上、客単価、来客数には変動がないのが大きな要因だと思う。
コンビニ(企画担当)	・景気とは別に、年々気温上昇が続くと思われるので、関連商品は大幅に需要が伸びるのではないかと見込まれる。
コンビニ(企画担当)	・均一的に良くなることは考えにくい。気候など外部要因により変動する可能性はある。
コンビニ(店長)	・客の高齢化で売上減が続く。新規客の獲得ができない。
コンビニ(エリア担当)	・中長期的には24時間営業の撤廃や対応のためのリストラなど、先行きには不安材料が多いが、短期的にはさほど変わりはない。
コンビニ(エリア担当)	・足元では来客数も売上も何とか前年より若干増えているが、いろいろなキャンペーンなどの施策を打って、その結果何とか維持しているというイメージなので、こういった販促施策がなくなると前年よりも厳しくなるかもしれない。トータルとしては、良くも悪くもならずにはしばらくは推移するのではないかと感じている。
コンビニ(商品開発担当)	・来客数の減少が続いており単価でカバーする流れが相変わらずである。短期で回復するようには感じられない。
コンビニ(店員)	・暑くなると来客数が減る。
コンビニ(本部管理担当)	・4月の売上は前年同月比で好調なため、先々にも期待したくなるが、ゴールデンウィークの10連休が終わり消費の冷え込みや消費税引上げを懸念している。また、前年の夏季シーズンは記録的な暑さでコンビニには追い風だったため、仮に今年は梅雨が長引けば、前年比の売上は伸び悩み、小売業界のマインドも下降傾向になる可能性がある。先々の状況は不安定なため、全体としては変わらないと見込む。
衣料品専門店(経営者)	・バーゲンセール時期といってもなじみ客頼みになる。
衣料品専門店(販売企画担当)	・動きはあるが、伸びていくような力強さはない。
衣料品専門店(売場担当)	・改元効果により一時的に消費者の購買意欲は増加するかもしれないが、それが景気回復につながるとは思えない。
乗用車販売店(営業担当)	・4月になっているいろいろな物が値上げとなり、出費が増えている消費が落ちてくるのではないかと見込まれる。
乗用車販売店(経営者)	・企業業績の今期見通しにおいてもやや慎重な見方が多く、個人消費についても先が見通せない状況である。

乗用車販売店（経営者）	・改元や東京オリンピック等、景気を刺激する材料はあるものの、消費につながるような高揚感は余り見受けられない。
乗用車販売店（従業員）	・10連休のゴールデンウィーク後、客の財布のひもは固くなる。これから夏のボーナス時期に向かって新型車両の商談を中心に客にアピールしていく必要がある。改元を機に、客との話も何となく明るい話題が多く、販売環境が少しでも改善していくことを期待したい。
乗用車販売店（従業員）	・今月が少し悪かったからといって、たまたまということもある。全体の流れとしては、今までと基調は変わらない。もっと全体でみれば良い感じではないかとも思うので、特別先行きが不安という感じではなく、景気の動向は変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	・フルモデルチェンジの新型車両が発表になるにもかかわらず、新規契約の客の来店がかなり少ないので、今後も厳しい状況が続くと見込まれる。
住関連専門店（営業担当）	・客の様子見気分が強いいため変わらない。消費税の引上げや景気の動向について、不透明感があると思われる。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・特に景気を左右する要因が見当たらないが、ゴールデンウィークが終わってみてどうなるかは興味がある。
高級レストラン（経営企画）	・大型ゴールデンウィークの10連休は、後半に予約が多く入っているが、ゴールデンウィーク中のいろいろな消費で、当面は節約志向が続くと思われる。
一般レストラン（経営者）	・消費税の引上げ前なので見通しが立てにくい。
その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・消費税引上げまでは堅調な消費が続きそうである。客との会話でも、消費税引上げ後は財布のひもを固くするという内容が多い。
観光型ホテル（経営者）	・宿泊に関しては前年の予約状況に比べて5～8%良くなっているため、比較的良くなる傾向が続き、先行きも良くなる状況が続くという形で変わらない。景気回復支援策があるわけではないが、団体旅行が見直されてきたり、あるいは個人旅行で行楽に出掛ける人も増えてきているようで、やや明るい材料がみえてきたようにも思われる。
都市型ホテル（従業員）	・予約数から横ばいが見込まれる。
タクシー運転手	・何か月も街中の飲食店街の人出が少ないまま変わっていない。少ないなりに横ばいできているので、まだ変わらないと思う。
タクシー運転手	・ここ最近はしばらく変動がない。
タクシー運転手	・ガソリンの価格が上がっているし、ニュースなどでも中国向けの携帯向け部品などは非常に注文が減っているなど良くない話題が多く聞かれるので、先行きには心配がある。
通信会社（営業担当）	・目玉となる商材がない。
テーマパーク職員（総務担当）	・ゴールデンウィークの10連休による集客を見越していたが、天候により簡単に左右されてしまう。先行きは不透明に感じる。
その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・海外の情勢が不透明である。
美容室（経営者）	・客の話を聞いていると、出掛けるとか消費するなど、余り金を使ったりする行動は少ないように感じる。
住宅販売会社（従業員）	・横ばい状況が続く。
住宅販売会社（従業員）	・年度末の消費税に関連した動きが落ち着き、販売量は停滞している。ゴールデンウィークの来場客は、6月頃からの商談になると思われる。
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・長期のゴールデンウィークがあり、新規入居が大幅に減少する見込みなので、現状維持のために新規開拓を検討中である。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	・ふだんの外での飲食は、消費税の引上げを控えてますます減る流れが続くと考えられる。
百貨店（売場主任）	・自社カードの優待とかポイントアップとか、店としてはいろいろ行っているが、集客はあっても購入客は少ない。給料日でもそれほど購買意欲のある客はなかったため、少しずつ売上が厳しくなる状態がこれからも続くのではないかと思う。

百貨店（経理担当）	・今回の消費税増税は前回のような駆け込み需要は発生せず、むしろ耐久消費財の買い控えや、一般消費財の低価格志向が強まることによって、景気は悪化する。
スーパー（経営者）	・中国等の景気が底を打ちつつあり、原材料を運ぶ貨物コンテナも活発になってきている。物の動きが活発になることは良いことであり、米国、中国共に景気が良くなることは我が国にとってもプラスで、その方向に進んでいると思う。10月から消費税率が10%になり高額商品の駆け込み需要が増えるが、今は景気がまだまだ良くないため、売上への貢献度が少なく7月の景気も良くなるという印象は受けない。
スーパー（店員）	・ゴールデンウィークの10連休は多くの家庭が外食すると思うので、一般のスーパーにはマイナス要因となる。ガソリンの価格の高騰による価格転嫁も考えられ、消費は減少する。
コンビニ（店長）	・消費税引上げを控えて、これからは買い控え等によって、売上、来客数や単価等に影響が出てくるので、先行きは消極的、悲観的にみている。
コンビニ（店長）	・花見や改元といったイベントに対する需要も段々と少なくなってきている。今後も同じような傾向と思われる。
乗用車販売店（営業担当）	・過去にない10連休で、終わった後の状況は読みにくいが、連休後はしばらく金を使わない風潮になるのではないと思われる。ただ、徐々に消費税アップの話が客から出始めているので、その前に買換えを検討する客は、少しずつ出てくるのではと思う。
その他専門店 [書籍]（店員）	・今年はゴールデンウィークが10連休の企業も多かったので、レジャー代などに流れたこともあり、2～3か月先は反動がありそうで、財布のひもも固くなりそうなので、売上は少し落ち込むのではないかと懸念している。
その他小売 [ショッピングセンター]（経理担当）	・売上高は前年比マイナス0.4%、来客数は前年比0.1%のプラスである。
一般レストラン（経営者）	・物価が徐々に上がっていくとともに、外食への出費が少なくなると思う。
一般レストラン（従業員）	・連休後、消費税引上げ前と重なり、しばらくは駄目である。
都市型ホテル（経営者）	・景気の先行きに不安がある。
都市型ホテル（総支配人）	・春の好況は特需によるものである。ゴールデンウィーク明け以降は、どのホテルも予約客の取り込みは厳しい。
都市型ホテル（営業担当）	・中国の景気後退で製造業の客からの予約に影響が出てくる。
旅行代理店（経営者）	・4月に入り、徐々に食料品などの値上げが浸透して購買量が減っている。より低価格な商品を商うスーパーや喫茶店などの客が増加している。
旅行代理店（営業担当）	・ゴールデンウィークしか旅行に行けない客が集中しているだけで、ゴールデンウィーク後は旅行申込みが減少すると推測する。物価上昇が続くと財布のひもが固くなり、余暇に回る金は少なくなり、旅行観光関連の景気は停滞すると思われる。
通信会社（サービス担当）	・どの家庭でも既に光回線を導入されているので、新サービスや提供エリアの拡大等がなければ、新たな客を増やすのは難しい。
通信会社（営業担当）	・当面、減少傾向が続くと考えている。
テーマパーク（職員）	・東京オリンピックに向けて、客の方面変更が多い。
パチンコ店（経営者）	・行政当局の規制強化により業界全体が下降している。
理美容室（経営者）	・客との話で、いろいろな物が値上がりするのに給料が上がらないという話だった。
住宅販売会社（従業員）	・東京オリンピック需要や大阪万博の需要は、地方にはないように思われ、消耗品ではない住宅に金を回すほどのゆとりは感じられない。200万円ほどのリフォームを借入れさせてまで行わせる大手リフォーム会社があり、客は不信任感を募らせている。
その他住宅 [住宅管理]（経営者）	・見積依頼は増えているが、利益の出る仕事が少ない。この先まだまだ厳しいと思う。
その他住宅 [室内装飾業]（従業員）	・連休も影響しているのか、元請など客の動きが停滞している。

	x	一般レストラン（経営者）	・国内の経済対策だけではどうにもならない。国際情勢は余りにも良い方向には向かっておらず、混乱期を迎えている。世界の経済システムも、投機に走りやすく生産性や実態のある経済活動にはつながらないと思われる。
	x	スナック（経営者）	・景気が良くなる状況は見込めないと考えている。
	x	理容室（経営者）	・景気が良くなるとは思わない。客の財布のひもが固く余分な出費をしない。
	x	設計事務所（経営者）	・主要取引企業が吸収合併されれば、案件数は確実に減少する。
	x	住宅販売会社（経営者）	・地域によって上がり気味のところもあるし、下がることもあるので、実際にどうなるかは分からない。
企業 動向 関連  (東海)		-	-
		食料品製造業（営業担当）	・飲料業界において、夏場は最盛期である。天候にも左右されるが、例年どおりなら伸びていく時期である。
		化学工業（営業担当）	・電材需要が回復するかは不透明であるが、ナフサの価格が下がったことによりプラスチック原料価格もダウンし、収益は良くなる方向にある。
		電気機械器具製造業（経営者）	・客先業界にはお盆商戦に向けての投資や消費税引上げ前の設備投資が期待できるので、ある程度の出荷が見込まれ、良くなるのではないかと思う。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・元号が改まって少し変化があるかもしれない。
		通信業（総務担当）	・ゴールデンウィークの10連休は、全国に消費をもたらす。また、10月の消費税引上げが確実ならば、駆け込みムードが湧いてくるはずである。
		通信業（法人営業担当）	・ラグビーのワールドカップや、フットサルなどの世界大会の開催や誘致に向けて、期待先行ながら民間景気は上向きになる。集客につながるような先行投資は、提案数、受注数共に増えている。
		金融業（従業員）	・足元の動向とさほど違いはないが、やはり東京オリンピックの影響だと思うが、建築業、フィンテック、ITやAIといった業種に関しては、比較的例年よりも忙しいといっている従業員が多い。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・客先の派遣要員確保の困難は、秋口まで続くと思込まれる。
		食料品製造業（経営企画担当）	・コストアップ要因が増え、先行きはますます不透明な状況が予測される。生産性向上の動きを加速させていくことに尽きる。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・消費税の引上げによる影響も今は余りなく、現在の景気がこのまま続くものと思われる。
		化学工業（総務秘書）	・景気が後退する特段のトピックがない。後退する局面は、与党で総裁が代わった後に訪れる。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・新規引き合いは結構あるが、採用されても余り売上金額の見込めないものが多く、従来の商品も売上が増えそうな情報がない。
		金属製品製造業（従業員）	・この忙しい状況はしばらく続く。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・北米市場では設備投資が上向きになる要因はなく、欧州やアジア市場でも投資に消極的な話が多く、北米市場の落ち込みを補うことができない。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量が安定推移している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・全体的に減速傾向である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関係、工作機器関係共に、先がみえないという客が多い。今後の円相場等の動向によっても変動があると思うが、受注等に鑑みても、こししばらく2～3か月は景気が上向きような状況がみえない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・通信業界の設備投資意欲は高いが、一般家庭に高速インターネットや新4K・8K衛星放送を普及させるためには、消費税の引上げが足かせになるのではとの懸念がある。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・今の状況や環境が大きく変わるかという点、2～3か月以内には変わらないと思われる。
	建設業（役員）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要もなく、特別市場には好材料がない。	

	輸送業（経営者）	・人手不足解消の見込みがない。荷主からはこれ以上の値上げは難しいといわれている。	
	輸送業（エリア担当）	・適正な単価交渉は業界全体で進んでおり、客も理解を示している。社内でも交渉が進む仕組みを導入し、その変更・運用が定着してきた。引き続き、個別の適正単価交渉が進む。	
	輸送業（エリア担当）	・燃料単価も若干上がっているが、荷物の動きが今のところは順調である。	
	輸送業（エリア担当）	・4月の3～4週目の荷物量の増加は、10連休前を見越した取引の活発化によるものであって、将来への景気回復の兆しとはいえない。連休明けの荷物の量も再び多くなるとは思うが、これも一時的な流れであって、やはり10連休の影響にすぎないとみている。	
	通信業（法人営業担当）	・消費税の引上げまでは、政策等により何とか現状維持ができるのではないかと。急激な上昇下降は考えにくく、政治の安定もあり、現状を維持していくような感じがする。	
	金融業（企画担当）	・相場が良くなってこないと個人投資家は動きづらい。個人投資家以外の個人も給与が上がってきた実感がなく動きづらい。当面は現状の景気が続くと思われる。	
	不動産業（経営者）	・今後も例年同様に晴天の日が多くなると予想されていることもあり、当面の景気は、今月同様に良い状態が継続し、売上は前年同期100%以上で推移するとみている。	
	広告代理店（制作担当）	・取引先への大型提案が予算等の問題でなかなか決まらない状態の中、改元でどのくらい企業側の動きがあるのか期待したい。	
	公認会計士	・客先の中小企業が抱える諸問題の解決には、少し時間が掛かる。	
	会計事務所（職員）	・変化をもたらすような要因がない。現状維持のまま進むのではないかとと思われる。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・為替水準は非常に安定した状態と感じる。4月は大変忙しかったので開発が余り進まなかったが、段々と厳しい時期が近づいているように感じているので、開発を早く完了したいと思っている。	
	鉄鋼業（経営者）	・ゴールデンウィークは10連休の人が多く営業日も少ないため、5月に向上する見込みがない。	
	金属製品製造業（経営者）	・引き合いも減少しており、今後は悪くなる。	
	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・まだしばらくはガソリンの価格の上昇が続くと思われる。	
	輸送業（役員）	・消費税引上げを前にやや高額な物がこれまでより消費されるが、引上げ率が小さいため、以前のような買いだめや買い控えは顕著ではないようである。業界としては、軽油やガソリンの値上げが、じわじわと影響しそうである。	
	不動産業（経営者）	・今後も今の状況は改善されず、人材不足による収益構造の悪化が業績を圧迫する。	
	会計事務所（職員）	・消費税引上げ前に販売単価を上げないと消費者に悪影響を与えかねないので、消費の動きが鈍くないこの時期から、値上げを検討する会社が多くなってきている。	
	×	新聞販売店〔広告〕（店主）	・新聞購読者の減少と折込広告の減少が続くと想定している。
雇用 関連  (東海)		-	-
		人材派遣業（営業担当）	・改元需要により、一時的に消費が増加することが見込まれる。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・海外輸出向けのSUV車種においては、今後も生産体制が多忙と見込まれる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・6月のボーナス支給後の転職に向けて、ゴールデンウィーク明けから転職活動者の数字も伸びてくることが想定される。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・来年度、近隣の自治体に大規模な大学病院が開設予定であり、同時に看護学部の実習先でもあるため、数年にわたる大幅な採用計画があると聞いている。
		人材派遣会社（企画統括）	・求人企業の手不足の状況は、当面続くものと考えられる。
	人材派遣会社（営業担当）	・4月の求人件数は増加したが、それ以上に3月の契約終了が多かったため、契約数は減少傾向である。大型連休以降の求人を注視していかないと2～3か月先は不透明な状況である。	

	求人情報製作会社（営業）	・国内の景気は停滞感がある。自動車等の輸出関連企業の国内生産が、中国の消費低迷などの影響で低調である。それに伴い、人員の余剰感が出ており、求人ニーズも停滞している。国内の景気や市場は海外情勢に影響されるので、上昇する材料が現在は乏しい。
	職業安定所（所長）	・中小零細企業の人手不足は深刻化している。
	職業安定所（所長）	・景気の変動を左右する特段の要素が見当たらない。
	職業安定所（次長）	・求人に大きな動きはみられないが、特に中小零細企業においては継続して人手不足が深刻化している。
	民間職業紹介機関（窓口担当）	・コンスタントに一定数の求職者があり変動はないが、今後、夏に向けて求人状況が少し落ち着き、大きく動くのは半年後が目安となる見込みである。
	人材派遣会社（社員）	・今月が良かった分やや悪くなる。予約状況も例年よりは良くない。
	人材派遣会社（営業担当）	・自動車関連企業の顧客担当者から今後の予算確保のための協力を依頼されるなど、先行きの予算確保に対して困っている状態を目にしているため、2～3か月先の景気はやや悪くなると見込まれる。
	人材派遣会社（営業担当）	・正社員求人数が、徐々に落ち着いてきている。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・求人の冷え込みは、業績が芳しくないからである。今後も明るい兆しはみえない。
	職業安定所（職員）	・外部環境や消費税引上げなど不透明感があり、求人を控える動きが続いている。
	職業安定所（次長）	・米中貿易摩擦の影響から、製造業を中心に様子見が広がっており、懸念される。
	民間職業紹介機関（支社長）	・大手メーカーの一部で中途採用の求人がストップし始めている。
×	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・もはや新聞広告を使って人材を募集する企業はなくなったのではないかとさえ感じている。